原子力のキャリアパス

私にとっての原子力

福井大学大学院　石脇萌

内容

01 自己紹介

02 原子力に惹かれた理由
- 原子力との出会い
- さらなる期待

03 これからの挑戦

04 原子力の未来への思い

①自己紹介



石脇　萌

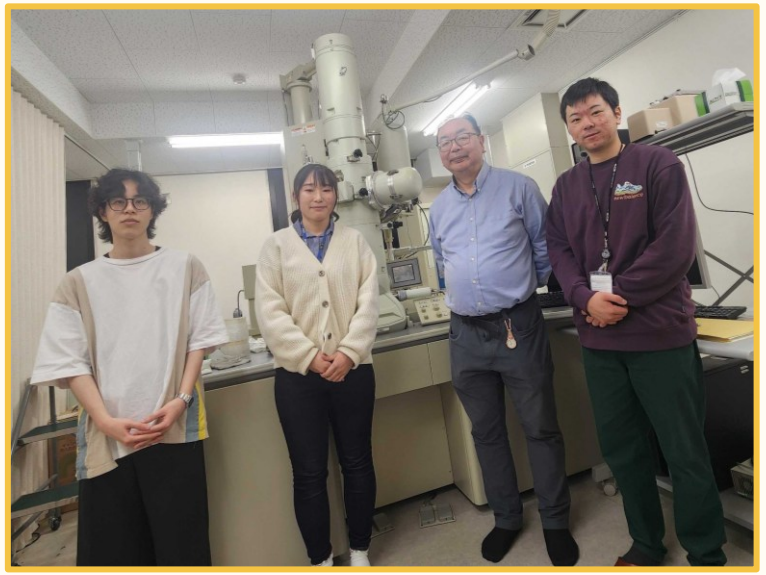
福井大学大学院 工学研究科
安全社会基盤工学専攻
原子力安全工学コース　修士2年

奈良県奈良市 出身

活動：
日本原子力学会 学生連絡会 運営委員

研究テーマ：
原子炉圧力容器の**中性子照射脆化**

材料が中性子照射を受けることで、硬く脆くなる現象。
※詳しくはパネル展示で！



研究室メンバーと実験装置

②原子力に惹かれた理由｜原子力との出会い

高校2年生のとき、興味本位で参加した
「女子中高生のための関西科学塾」で放射線を用いた元素分析を体験。



女子中高生のための関西科学塾HP[1]

高校生のときの私



放射線を用いると破壊せずとも
物質の性質を調べられることに感銘を受ける。

放射線・原子力について学びたいと思うように。

ふとしたきっかけが、原子力を学びたいという原動力になった。

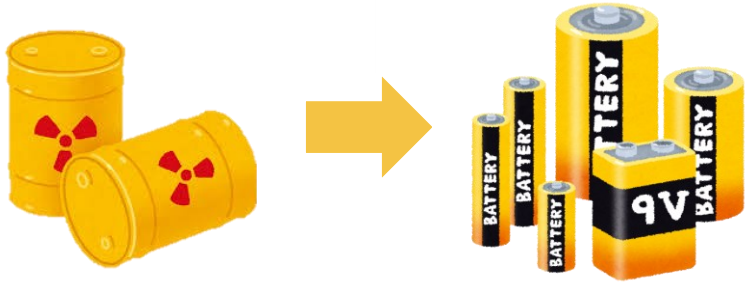
[1] 【公式HP】女子中高生のための関西科学塾

②原子力に惹かれた理由｜原子力へのさらなる期待

高校生の時に読んだ１冊の本

崩壊熱を利用した

半永久電池（RI電池）の紹介



身の回りで利用ができたら…

使用済み燃料の資源化できるのかな…



原子力工学を学ぶため福井大学入学を決意

原子力技術への可能性＋社会に受容される可能性

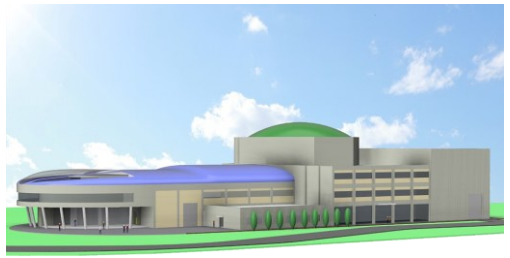
その期待が大きく膨らんだ。

③これからの挑戦

将来は…

「ここで研究したい」と思える**新試験研究炉**を、つくる。

試験研究炉 とは
中性子を用いた研究、原子力の基盤研究や人材育成に広く資する原子炉



新試験研究炉のデザイン[2]

大学での学びで培った今後のビジョン

- **将来世代が原子力を学べる環境づくり**
- **原子力科学技術を継承**
- **原子力と社会との共生の推進**

人が育ち、技術が続き、地域・社会とともに歩む研究炉に。

[2]JAEA/新試験研究炉推進室

④原子力の未来への思い

私は、
原子力に魅せられ、未来を感じ、夢をもらった。

高校時代の私が感じた原子力への
“感動や期待”を
次の世代へとつなげていきたい。

ご清聴ありがとうございました